

マリオネット劇場「ぶんぶく茶釜」を見たよ!

羅臼幼稚園 春松幼稚園

マリオネット劇場『ぶんぶく茶釜』

2月26日(火) 羅臼幼稚園にて、札幌市を拠点に活動されている『お楽しみ劇場ガウチョス』による人形劇を羅臼幼稚園、春松幼稚園の全園児で観劇しました。

紅白の提灯やのぼりが飾られた舞台に子ども達はドキドキ、ワクワク!! チキチキ♪ ドンドン♪ と愉快的チンドン屋さんの音楽からスタート。初めの演目は「明日の次の日はなんて言う?♪ あ～さって、あ～さてさては南京玉すだれ～」と歌に合わせて、すだれを変化。『桃』『魚』『花火』などに見立てると、子ども達からは歓声と大きな拍手が!! 目をキラキラさせていました。

そして、次の演目は日本昔話の『ぶんぶく茶釜』人形劇の始まり、始まり! 糸あやつりの人形たちが昔話を繰り広げてくれました。助けてもらったタヌキが、茶釜に化けて恩返りするストーリー。心温まるお話とタヌキの曲芸に子ども達は真剣! そして笑いが起きていました。

きっと子ども達の多くは、はじめて聞く言葉やはじめて観るものだったと思います。日本の大道芸、昔から語り継がれる昔話に触れ、楽しいひと時を過ごすことができました。ガウチョスさん、また来て下さいね。



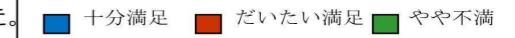
人形劇の終了後に、実際の手作りの人形に触れたり、自分たちで人形作りをしたりする姿が見られました。
「ガウチョス」さんとの出会いは、子供たちにとって大変素敵な体験でしたし、不思議がいっぱいで、発見もたくさんありました。

羅臼町幼小中高の教育 診断編

幼稚園・小学校・中学校・高校の平成30年度の取り組み

平成30年度 羅臼幼稚園の教育 【診断編】

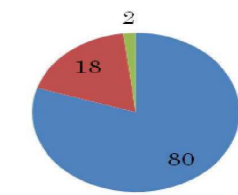
今年も16項目にわたる保護者運営評価を行い、今年度の取り組みの項目から抜粋しました。全体的に高い評価を頂きました。今後の取り組みをまとめてみました。



幼小の円滑な接続の推進

- 5歳児修了時の幼児の姿について共有できるようにし、幼児期の教育と小学校教育とのより一層の円滑な接続を目指す。
- 年長午後保育の充実～小学校入学を念頭に、みんなと一緒に教師の話の聞いたり、行動したり、きまりを守ったりしながら楽しく活動する。

小学校との滑らかな接続を目指し、交流活動・年長児3学期午後保育など、連携に力を入れている。

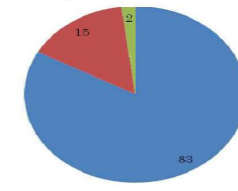


・今年度、交流活動に留まらず、小学校の先生が年長児に授業をしてくれたり、幼・小の教員が、課題に感じていることの研修を行っていること、幼稚園での教育を伝える事が出来た。今後は、お互いの教育内容の違いや共通点について理解していきたい。

海洋教育パイオニアスクールの取り組み

- 羅臼の豊かな海の大きさや不思議さを感じたり、親しみをもったり、考えたりしながら自分達が暮らす町が「海の町羅臼」ということを意識できるようにしていく。

羅臼の自然に触れたり、羅臼のことを知る活動に力を入れている

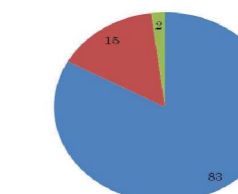


・今年度、「昆布を通して羅臼を海を知る」活動を計画し、実際に昆布番屋に行き、昆布が製品になるまでに多くの仕事があることを学んだ。又、津波授業に参加し、時に海は怖いことも知ることができた。

食育活動

- 食へることが喜びにつながる食指導～季節の食材を知り、食べ物と自然を大切にすることを育む。
- PTA食育～各学年の役員さんを中心に地域でとれた農産物魚介類などを使った献立を考えてもらう。

食へることに関心をもち、楽しみながら望ましい食習慣が身につくよう、PTAとも協力し食育に力を入れている

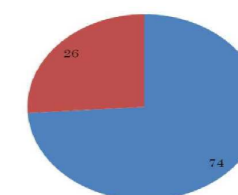


・食への関心が高まるよう、生産から知ってもらおうと市場見学後、PTAの協力で羅臼で獲れた海鮮や牛乳を使った食育活動を行った。羅臼でも牛乳が生産されることを知ることができた。

感じる・気付く・わかる・できるようになるための豊かな体験

- 幼児が感じたり気付いたり分かったりできるようにしていく体験を重ね、豊かな体験を促す。
- ・「楽しい」「おもしろい」「やってみよう」と思ったり感じたりできる環境の工夫し、興味関心を高める。
- ・間違っても、失敗しても考え直す、経験したことを活かして工夫する、友達と協調し諦めずに最後までやりぬこうとする、学びに向かう力を大切にする。

喜んで登園し、幼稚園が楽しいと言っている。



・「おもしろそう」「やってみよう」と主体的に自分達の遊びを楽しむ中で、「こうしたらもっとおもしろくなるかも?」と工夫したり試行錯誤しながら見られた。今後は、友達と協力して遊びを進められるよう、友達と思いを伝え合えるような援助を探していきたい。

平成30年度 春松幼稚園の教育 【診断編】

今年も19項目にわたる保護者運営評価を行い、今年度の取り組みの項目から抜粋しました。全体的に高い評価を頂きました。今後の取り組みと合わせまとめてみました。

思いを伝えあえる子どもの育成



- 幼児の興味・関心から、活動や学びの広がりや予測し、幼児同士の対話を生み出しやすい環境の工夫をする。
- 幼児同士が安心して対話をし、自分の考えを作ったり、より良い考えが実現できる援助を進める。

項目：『子どもは、園での生活や遊びの中で、自分の考えを作り、安心して言葉のやり取りを楽しんでいる。』

幼児との『対話』を意識し、幼児と一緒に考えていく援助を心掛けた。遊びや事柄に興味をもったり、友達との関わりに繋がり、思いを共有したり会話が広がった。課題としては自分なりの表現はできるものの、相手に伝わるような伝え方が未熟であると感じる。来年度も伝え合える子どもの育成に取り組んでいきたい。



■十分満足 ■だいたい満足 ■やや不満

保護者と連携した子育て支援の充実



- 家庭との信頼関係を築き、連絡帳、おたより、ブログ、ドキュメンテーション等、様々な形の情報発信に取り組む。
- 「家庭教育学級」の取組等で、保護者同士の関係づくりや幼児の意欲を尊重した子育てをするきっかけ作りをしていく。
- 保護者の立場での視点で考え、開かれた園を目指す。

項目：『園は、保護者や地域の願いにこたえている。』

ドキュメンテーションを玄関に掲示することで、保護者に幼児の遊びの様子や育ちを知ってもらうことができた。「家庭教育学級」の取組では、参加者が少ないという現状がある。3月は、味噌作りを予定している。時期や時間など考慮しながら今後も取り組んでいきたい。



■十分満足 ■だいたい満足 ■やや不満 ■全く不満

ESDに繋がる羅臼ならではの教育の実施

- 海洋教育パイオニアスクールプログラムを通じてふるさと羅臼を体験する。(羅臼昆布を通して)
- 地域の物を知り、地域を大切に思える環境教育の実践を図る。
- 地域の人々との繋がりや出会いを大切に保育活動の工夫を図る。



項目：『園は、自然環境を生かし、外遊びや散歩・羅臼ならではの教育(羅臼昆布等)に力を入れている。』

羅臼の産業である「羅臼昆布」の魅力を感じる取組から、幼児の体験がより深いものになり、幼児同士の対話を生み出す経験に繋がった。近くの昆布場に行き見学させてもらい地域の方との繋がりも感じる事ができた。今後も自分の住む町の魅力をより感じられるよう継続していきたい。



■十分満足 ■だいたい満足

平成30年度 羅臼小学校の教育 【診断編】

学校の教育目標

激しい時代の変化に適応できる人間性豊かな児童の育成を目指し、知床の豊かな自然のふとこで、人・自然・まちと触れ合いながら、故郷を愛し、自他のよさを認め合い、個性を磨き、「心豊かにたくましく生きる子ども」を育てる。

今年度の重点

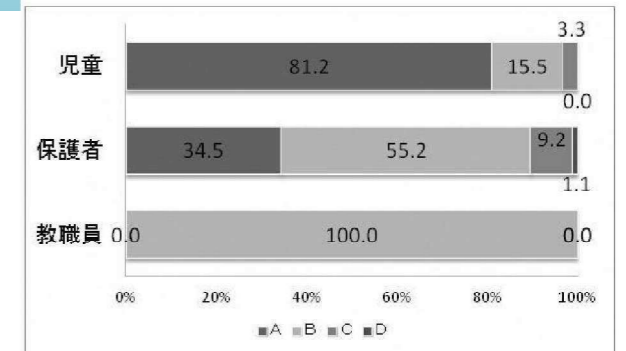
豊かな学びを創り楽しむ子どもを育てるために「基礎基本の定着」と「学び方を学ぶ」
本年度のテーマ「深化」

学校評価から

- 【児童】先生は、「知りたい」「やってみたい」と思うような楽しい授業をしてくれる。
【保護者】学校では、子どもの興味や意欲を高めるような楽しい授業を工夫している。
【教職員】私は、子どもの意欲を高めるような楽しい授業を行っている。

(数字=%) A・B合わせて8割を越えているものに

	A	B	C	D
児童	81.2	15.5	3.3	0
	96.7		3.3	
保護者	34.5	55.2	9.2	1.1
	89.7		10.3	
教職員	0	100	0	0
	100		0	



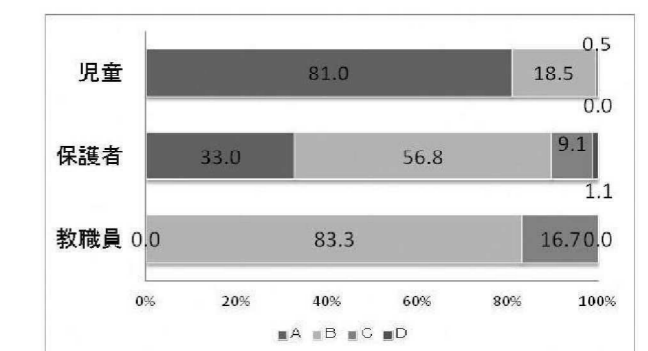
○授業が楽しいと感じている児童は95%を越えており、授業について満足していることが伺える。

◎学校では、校内研修(先生方による指導方法などの学習会)を定期的実施し、日々子どもにとって分かりやすい授業づくりに取り組んでいる。今後も、より子どもたちに力をつけ、思考力・判断力・表現力を伸ばしていく授業をつくれるように日々研鑽に努めていく。

- 【児童】先生は、勉強がよくわかるようにおしえてくれる。
【保護者】学校では、基礎的な学力が身に付くような分かりやすい授業をしている。
【教職員】私は、基礎・基本の定着を図るための指導方法、形態を工夫し、成果が上がっている。

(数字=%) A・B合わせて8割を越えているものに

	A	B	C	D
児童	81.0	18.5	0.5	0
	99.5		0.5	
保護者	33.0	56.8	9.1	1.1
	89.8		10.2	
教職員	0	83.3	16.7	0
	83.3		16.7	



(数字=%) A・B合わせて8割を越えているものに

○児童アンケートでは、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」合わせて99%が回答している。児童からは高い評価を得られている。保護者からも、約90%の評価を頂いている。

◎成果が目に見える形(数値)で取組の検証を行っていく必要がある。NRTテストや各種検査などを分析し、授業改善を行い、子どもたちに確実に力をつけるように、日々の研修を深めていく。

学校評価から、教職員の指導技術の向上が数値から伺える。児童・保護者とも高い評価を受けており、信頼もされていると考えている。また教職員も意識が高い。しかし、全国学調やNRTの数値結果は高いとは言えない。数値として結果を出せる具体的な取組を行う必要がある。【全国学調・NRTで+3ポイントを目指す】

平成30年度 春松小学校の教育【診断編】

学校の教育目標

郷土の発展に役立つ実践力のある社会人となるために、勤労を尊び、仲良く助け合い、豊かな情操と高い知性を持ち、何事もやり抜く心身ともに健康な子供を育てる。

今年度の重点目標

- 心身の健やかな成長を促す健康・安全教育の推進
- 学習意欲の向上と確かな学力を定着させる教育の推進
- 人権尊重の精神を基盤とした共生の心を醸成する教育の推進

元気な子

『自らつくる力』の育成

◎心身の健やかな成長を促す健康・安全教育の推進

保護者アンケート結果

(※Max.5)

評価項目(要約表現)	1学期	2学期
1 偏食なく食べている	3.5	3.8
2 進んで体を動かす	4.1	3.4
7 やる気があり、元気に登校している	4.3	4.2
☆児童評価	4.1	4.4

次年度に向けた(3学期の)重点課題

- 冬季間における継続的な体力づくり
 - ・長・短縄跳びの励行
 - ・外遊び・徒歩通学の奨励
 - ・運動量を確保した体育授業の充実
 - ・うがい・手洗い等の健康・安全に対する自己管理能力の育成

*食事に関しては、食育や給食での取組の成果が見られ、わずかではあるが向上している。学校だけではなく、各家庭の理解と協力のおかげで、改善が図られたと考える。

考える子

『自ら学ぶ力』の育成

◎学習意欲の向上と確かな学力を定着させる教育の推進

保護者アンケート結果

(※Max.5)

評価項目(要約表現)	1学期	2学期
3 学習のきまりが身に付いている	3.3	3.3
4 あきらめないで取り組む	4.0	4.0
8 わかること、できることが増えている	3.9	4.0
☆児童評価	4.4	4.2

次年度に向けた(3学期の)重点課題

- 根拠を持って自分の意見を相手に伝える
 - ・各教科における言語活動の充実
 - ・ねらいを明確にした分かる授業の創造
- 次学年への確かな学力の接続
- 新学習指導要領への円滑な移行
 - ・外国語(5・6年)、外国語活動(3・4年)
 - ・道徳科(評価基準、所見内容)
 - ・総合的な学習、知床学の指導計画改善

*児童が、学習の成果を実感できるよう、授業と連動した宿題や家庭学習を実施し、学習規律の重点化や系統的な取組を推進する。

やさしい子

『自らかかわる力』の育成

◎人権尊重の精神を基盤とした共生の心を醸成する教育の推進

保護者アンケート結果

(※Max.5)

評価項目(要約表現)	1学期	2学期
5 授業中の挨拶・返事・言葉遣い	3.9	3.7
6 友達と協力してがんばる	4.3	4.2
9 周りの人にやさしくする	4.3	4.2
☆児童評価	4.3	4.2

次年度に向けた(3学期の)重点課題

- 豊かで温かい人間関係の醸成
 - ・「挨拶・返事・言葉遣い」の意識化
 - ・道徳科の授業を通じた生徒指導の充実
 - ・異年齢集団での活動を通じた人間関係の醸成

*各質問の結果が若干減少しているため、重点課題の解決に向けた取組を継続し、他者理解や共生の意識化を図る。

平成30年度

羅臼町立知床未来中学校

《診断編》



【今年度の重点】

- 基礎基本を確実に身に付けさせる学習指導の展開
- 望ましい人間関係の醸成
- 特別支援教育の充実

全国学力学習状況調査・生徒質問紙から

・全国と比べて好ましい傾向

- 学校の規則を守っている
- 朝食を毎日食べている
- 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をする
- 地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会がある
- 今住んでいる地域の行事に参加している
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある
- 地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある

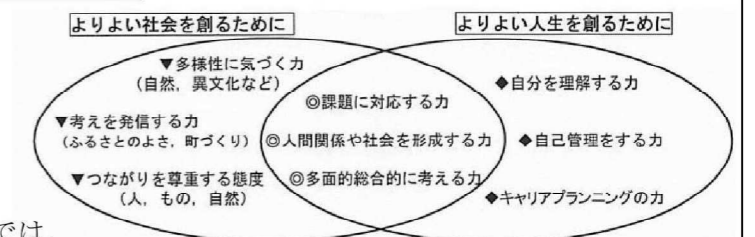


【新千歳空港での羅臼町 PR 活動】

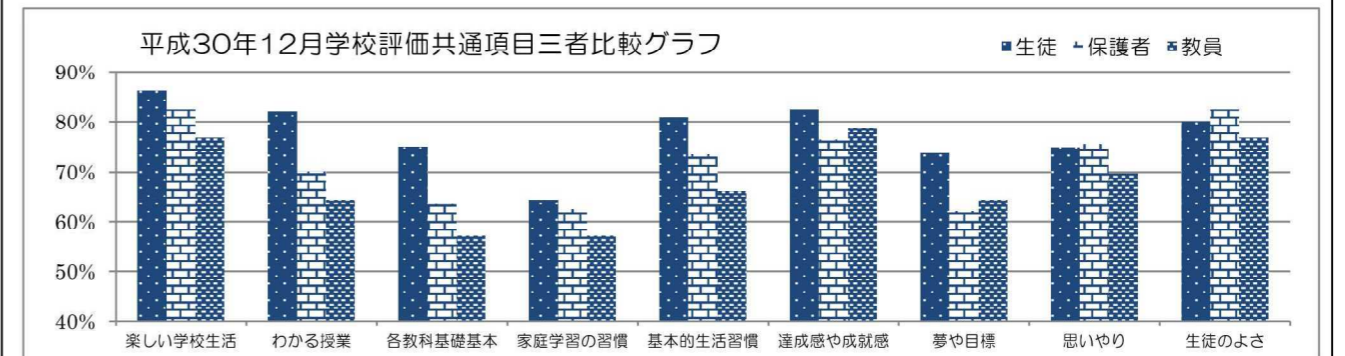
・全国と比べて好ましくない傾向

- 将来の夢や目標を持っている
- 平日の学校の授業以外の勉強時間
- 数学の勉強を大切に思う
- 理科の勉強を大切に思う
- 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える
- 授業の中で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する

身に付けさせる力



学校評価から



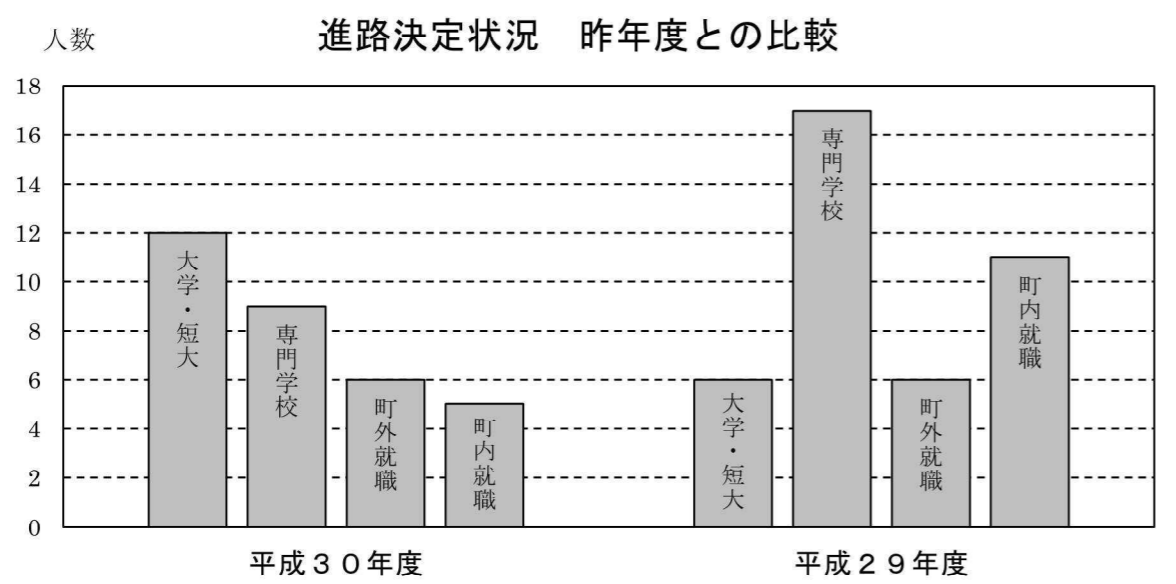
考察

- 学校生活を楽しいと感じている生徒が多く、達成感・充実感を得ている。
- 教科の基礎基本の定着と学習習慣の確立に課題がみられる。授業改善の視点として、単元目標、単元を通して身に付けたい力、本時の学習で身に付けたい力の明確化を図る。
- 夢や目標の具現化に向けて、個に応じた教育相談的アプローチをすすめるとともに、生徒理解を深め、開発的・予防的な生徒指導の充実に努める。



<校章>
尾白鷺が大空を飛翔する姿に、校歌に託された『からだつよく、こころさええ』の理念を示す

校 訓
「知床の自然のごとく厳しく美しく
羅臼岳のごとく悠然と」



今年度は、大学・短大への進学者が圧倒的に多いのが特徴です。3年間を見通した進路指導や平常講習、長期休業中における進学講習が実を結んだと言えます。また、今年度も国立大学への合格者を輩出することができました。就職に関しては、近年の状況から非常に好調です。公務員はここ3年間希望者がおらず敬遠されがちですが、現1・2年生には希望者がおり、継続的に公務員講習も実施していることから、来年度は成果を出せるよう、取り組んでいきます。

大学・短大	専門学校	企業
北海道教育大学函館校(国立)	釧路孝仁会看護専門学校	釧路信用組合
千歳科学技術大学(4月より公立)	北海道情報専門学校	金澤造船所
北海道科学大学	北海道観光専門学校	羅臼漁業協同組合
札幌国際大学	札幌放送芸術&ミュージックダンス専門学校	アポロ石油
札幌学院大学(2)	札幌ブライダル&ホテル観光専門学校	日本郵政株式会社
北翔大学(2)	情報ビジネス専門学校	中尾書店
北海道医療大学	青山建築デザイン専門学校	日本通信サポート
北海道情報大学	中央調理技術専門学校	でんこう
北海道武蔵女子短期大学	医療歯科専門学校	株式会社ほしの
北翔大学短期大学部		株式会社エリパレル

家庭教育学級「ブリーフセラピー」

2月28日(木)に春松幼稚園で家庭教育学級が開催されました。幼稚園や学校の先生方は10年に1度教員免許の更新をします。更新のためには、たくさんの講義を受けなければなりません。昨年度釧路教育大学で行われた講義で、大変勉強になったと受けた先生の紹介で、北海道教育大学釧路校 心理学 「浅井継吾」氏をお招きしました。今回の「ブリーフセラピー」のお話は、両幼稚園の先生方の研修も兼ねて行われました。保護者の方々とあわせて20名以上が集まり、一緒に楽しく学ぶことができました。

「ブリーフセラピー」とは、心理学の言葉なのですが、簡単に言うと「良いところをほめる」ということです。どんなにお母さんをイライラさせるお子さんでも、必ず「良いところ」はあるのです。その、「良いところ」をおおきくしていこう!という考えです。

良いところを見つけるポイントは、※「ほかの人と比べて.....」ではないこと
※「大人から見て.....」ではないこと

そして、「ほめる」ポイントは、※単にほめているわけではないこと
※相手の「能力」をほめること
※相手も気づいていないことをほめること



行動的な浅井先生



お互いに良いところをほめ合う

